

黒毛和種における過剰排卵誘起処理の簡易化技術

黒毛和種の過剰排卵誘起処理において、水酸化アルミニウムゲルに溶解したFSH製剤を2回投与することにより、従来の漸減投与法と同等の採卵成績が得られる。

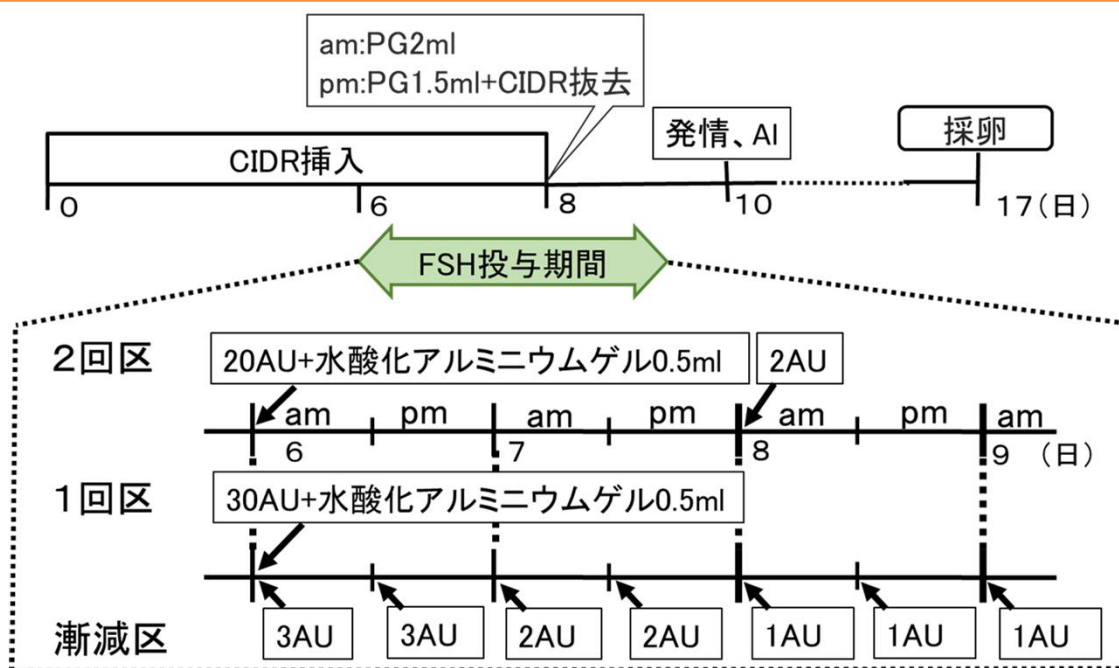


図 過剰排卵誘起法の比較

表1 投与法の違いによる採卵成績

区分	頭数	回収卵数	正常胚数	正常胚率*	凍結可能胚数	変性・未受精卵数
2回投与	115	10.3±8.1	5.6±5.9	54.0%	5.4±5.8	4.8±5.4
1回投与	107	11.3±10.1	5.3±6.8	45.6%	5.1±6.7	6.1±6.6
漸減投与	119	11.8±12.7	6.9±8.0	58.4%	6.7±8.0	4.9±8.2

平均±標準偏差 * 正常胚数/回収卵数

表2 過剰排卵無効頭数および凍結可能胚の未回収頭数の割合

区分	頭数	過剰排卵		凍結可能胚	
		無効数(頭)	無効率(%)	未回収数(頭)	未回収率(%)
2回投与	115	6	5.2	28	24.3 b
1回投与	107	12	11.2	39	36.4 a
漸減投与	119	12	10.1	28	23.5 b

過剰排卵無効数 = 回収卵数が0か1の頭数

a, b: P<0.05

凍結可能胚未回収数 = 凍結可能胚数が0の頭数

- ・1回投与と比較し、正常胚率や変性・未受精卵数が改善できる。
- ・1回投与は、過剰排卵無効頭数が多く、凍結可能胚未回収率も高くなるが、2回投与では、漸減投与と同等の採卵結果が得られる。

利用上の留意点

アルミニウムゲルに溶解したFSHを用いたSOVIは、投与回数が少ないため、薬剤を皮下へ確実に投与する。